



# 若小便り

令和2年

5月28日(木)

若松小学校便り

第2号

Tel 85-1014

【重点教育目標】 自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子供の育成

## チャンスに変えて (While You See A Chance : by Steve Winwood 1980)

校長 本谷 弘之

近年、Society5.0という言葉をよく目にします。1.0から順番に、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会と、4.0までは、これまでの人類の歴史を段階的に整理したものです。5.0は、これからの、日本の人口減少時代に対応したもので、仮想空間と現実空間を連携し、全ての物や情報、人を一つに繋ぎ、AI等を活用してバランスをとる社会「超スマート社会」と名付けられました。このSociety5.0時代に欠かせない取組の一つとして、教育界では、児童生徒一人一人に学習用PCと高速ネットワークを整備する「GIGAスクール構想」があります。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで在宅学習を進める可能性が検討されるなど、まさにこれからの予測不可能な社会において、必要な取組として注目度が一気に高まっています。



この予測不可能な社会とは、具体的にどのような社会なのでしょう。AIが人類を超えるなどとSF映画のような時期が2045年に到来すると予言した科学者の提言が世界中を震撼させました。この時期をシンギュラリティ(技術的特異点)と呼び、このために、現在有る職業の半数以上が、今の子どもたちが社会に出る頃には存在しないものと言われている。もちろん、これに懐疑的な科学者はたくさんいますし、もっと早い時期にシンギュラリティはやってくると唱える科学者もいます。科学技術の進歩は年を追う毎に加速しています。これは、これまで人類の思考速度に合わせたものでした。この思考をAIにまかせることで、人類の思考には追いつかないほど早い科学技術の進歩がもたらされるようになる。これがシンギュラリティです。ただ、具体的にどのような社会になるのかは、諸説分分として決定的な説がないため、予測不可能な社会と言われているのです(紙面の都合上かなり端折って書いています)。

私たち教職員の目の前には、そういう社会に巣立つ子どもたちがいます。今の新型コロナウイルス感染症は、この予測困難な時代の到来を宣言するものではないでしょうか。これからの時代を生き抜くためには、まず、この時代を生き残ることが必須です。このピンチを、子どもたちに自ら乗り越える術を身に付けさせることが、貴重な経験として将来に生きてくるはずだと信じています。ピンチに学び、ピンチをチャンスに変えるのです。この5月中、町内のみならず全国の大規模な学校では、分散登校等様々な工夫を凝らしながら学習を進めてきたことでしょう。若松小学校では、極小規模校だからこそ、感染症予防対策をとりながらも教師とマンツーマンに近い環境で、登校日を有効に用いて学力を高める最大のチャンスととらえました。デメリットを最大のメリットに変え、「若松小学校にいたからこそ、こんな情勢の中でも学力の遅れはみられなかった。」子どもたちが将来そう実感できるようにと、この4月と5月、しっかりと計画的に学習を進めることに専念してまいりました。

今後も、本校の子ども達の健やかな成長のため、保護者や地域の皆様にご理解とご支援を賜りたくどうぞよろしくお願いいたします。

※ 「チャンスがあれば、迷わずに前に進もう」という元気の出る80年代のヒット曲。

# 令和2年度学グラウンドデザイン

今年度の学校経営の趣旨をお知らせいたします。紙面の関係で簡略化している箇所があります。

## 学校教育目標

- 自ら学び運動する子
- 世界の広がりを感じる子
- 困難を乗り越え思いやる子

## めざす学校像

- 子どもが「明日も来たい」「できることが増えて楽しい」と思える学校
- 子ども一人一人の個性を生かし、協働して頑張る教職員のいる学校
- 子どもが頑張る姿が見え、保護者や地域から認められ、信頼される学校

## めざす子ども像

- ◎自ら学び運動する子
  - ・自分の考えを豊かに表現し、意欲を持って学ぶ子
  - ・自主・自立の精神を持ち、体力の向上に努める子
- 世界の広がりを感じる子
  - ・夢や希望を持ち、その実現に向けて努力する子
  - ・急激な社会の変化に対応できる力を身に付けるために努力する子
- 困難を乗り越え思いやる子
  - ・目標に向かって粘り強く取り組む子
  - ・認め合い、励まし合う子

## 重点教育目標

自尊感情を高め、  
自ら学び、考え、  
行動する子どもの育成

## めざす教師像

- 子どもとともに歩み、ふれ合いを大切にする教師
- 自信と責任を持ち、協働を心がける教師
- 進んで研修し、専門性を高め続ける教師
- 子ども・保護者・地域に信頼される教師

## 学校経営方針 (Plan)

- 世界に通用する力の育成
- 学校力の向上
- 「カリキュラム・マネジメント」の確立
- 特別支援教育の充実
- 学校運営協議会の活用
- 働き方改革
- 学校種間連携

## 評価 (Check)

- 学校評価での各項目での肯定的評価が85%以上
- 保護者アンケートでの各項目の肯定的評価が90%以上
- 児童アンケートでの各項目の肯定的評価が90%以上

## 具体的実践事項 (Do, Action)

### 学びを育む

- 学習スタイルの定着
- 基礎・基本の定着
  - ・CRT テストチャレンジテストの活用
- 教育の情報化の取組
  - ・プログラミング教育の環境整備と指導の充実
- 授業研究・授業改善
- 家庭と連携した学習習慣の確立
- 読書指導の推進
- キャリア教育の推進 など

### 心を育む

- 道徳教育の充実
  - ・道徳教育推進教師を中心とした「考え、議論する道徳」への授業改善
- いじめ防止基本方針の徹底
- 特別活動・総合的な学習の時間の充実
  - ・挨拶・礼儀・丁場に応じた言葉遣いの徹底
  - ・自尊感情を高め、他者を尊重する態度の育成
- 教育相談の充実 など

### 体を育む

- 健康増進、体力の向上
  - ・全校児童による新体力テストの実施と体力向上の視覚化
  - ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の参加と結果活用
  - ・「どさん子元気アップチャレンジ」の参加
- 安全な生活
  - ・ネットトラブル防止薬物乱用防止に関する取組 など

### 地域と育む

- 保護者・地域の理解と協力依頼
- ・子どもの変容が具体的にわかる参観日の懇談
- ・保護者アンケートの実施による学校改善
- ・PTA、学校運営協議会との協働
- ・地域の自然を生かした授業の工夫と地域人材の活用 など

# 学校再開に向けて

5月18日(月)から登校日が増え、1, 2年生は週2回、4, 5, 6年生は週3回午前授業を行いました。政府の緊急事態宣言解除となり、6月からは本格的に学校を再開します。こうして学校を再開できるのも、保護者や地域の皆様のご協力とご理解のおかげです。ありがとうございました。ただ、新型コロナウイルスの驚異がなくなったわけではないので、引き続き予防対策をとっていきます。\*下記参照

長期にわたる臨時休校による学習の遅れを、今後取り戻していきます。小規模校である本校の特性を生かし、個別指導を徹底して、このコロナ禍においても学習を十分に定着させていきます。臨時休校中は保護者の皆様のサポートにより、家庭学習を充実させることができました。担任が作成した時間割と、学習課題に沿って、学習を進めることができました。予習中心の家庭学習で、子ども達は戸惑うこともあったと思いますが、学習課題を全員が終わらせることができました。各ご家庭のご協力を、重ねてお礼申し上げます。

お休みの日	かみまき日	せいのまき日	ちくまき日	きんまき日	びんまき日
1 9:00	こくご	きんまき	こくご	きんまき	こくご
2 10:00	きんまき	こくご	きんまき	こくご	きんまき
3 11:00	せいかつ	きんまき	こくご	せいかつ	こくご
4 1:00	たいいく	ずこく	たいいく	ずこく	たいいく

家庭での学習時間割の例

**<ご家庭へのお願い>**

- ①登校前の検温
- ②風邪症状がある場合には登校を控える。
- ③マスクの着用
- ④ハンカチの携帯



**<学校での取組>**

- ①校内の消毒（登校前と下校後）
- ②玄関で児童や来校者は手指の消毒
- ③登校時に健康観察、体温確認
- ④常に教室を換気
- ⑤手洗いや消毒の指導
- ⑥密集する学習、活動を休止
- ⑦給食の配膳は教員が行う。全校給食の一時中止




## 「明日も来たい」と思える学校であるために

若松小学校では「いじめは、どの学校でも、どの学級にも、どの子にも起こりうる」という基本認識に立ち、「若松小学校いじめ防止基本方針」の定めています。いじめ根絶に向けて、次のような取り組みを行っています。

- いじめアンケート、個別面談の実施（年間2回）
- 全職員による児童観察と、情報共有、迅速かついねいな組織的対応
- いじめを認めない学級づくり、学校風土づくり（学級活動、特別の教科 道徳、児童会活動など）
- 保護者、地域と連携した情報共有、連携体制
- ネットいじめを防止する「情報モラル教育」やネットパトロールの実施
- スクールカウンセラー、スクールアドバイザーとの連携

お子さんの様子で気になることがありましたら、お気軽にお知らせください。また、地域の方からも、本校の子ども達の様子で気になることがありましたら、学校まで情報をお寄せください。学校、保護者、地域が連携して子ども達の笑顔と安心を守っていきたいと思います。





## 6月の行事予定

6月1日より「新しい生活様式」に則って、学校を再開いたします。  
これまで通りの感染症予防の対策は、徹底していきます。

日	曜	行事予定	バス		月	曜	行事予定	バス	
1	月	全校集会（業間）	14:30	15:30	16	火	眼科検診	14:30	15:30
2	火		14:30	15:30	17	水	児・委（業間）図書交換	14:30	×
3	水		14:30	15:30	18	木		15:30	×
4	木	農業センター	15:30	×	19	金		15:30	×
5	金		15:30	×	20	土			
6	土				21	日			
7	日	*運動会延期			22	月	高学年交流学習（未定）	14:30	15:30
8	月		14:30	15:30	23	火		14:30	15:30
9	火		14:30	15:30	24	水	児・委（業間）スペ水	14:30	×
10	水		14:30	15:30	25	木		15:30	×
11	木		15:30	×	26	金	農業センター	15:30	×
12	金		15:30	×	27	土			
13	土				28	日			
14	日				29	月	低学年交流学習（未定）	14:30	15:30
15	月			14:30	15:30	30	火	中学年交流学習（未定）	14:30

## 登校日も体力作り

臨時休校中の登校日5月11日月曜日に全校児童で常盤橋までマラソンをしました。片道500メートルで、高学年は2往復、低学年は1往復（2往復目は歩く）走りました。久しぶりの学校で体がずいぶんなまっているようにも見えましたが、子ども達は元気に汗を流していました。

毎年すいせんまつりロードレースに全員が参加していましたが、今年は中止となったため、走る機会が減っていました。これから、学校が本格的に再開したら、体力作りの活動も増やしていきます。マラソンだけでなく、なわとびにも取り組みます。

晴天の下、道ばたのすいせんを眺めながら走りました。



## ゲーム機などの使い方

せたな町では小、中、高校生のスマホやゲームの使い方についての決まりがあります。臨時休校の間、ゲームの時間が長くなったのではないのでしょうか。せたな町の決まりをもとに、ご家庭でゲーム機等の使い方について話し合ってください。



ほしい小学生ルール

- \* スマホやゲーム機の使用時間は1時間以内にしましょう。
- \* スマホやゲーム機の使用は、低・中学年は午後8時まで、高学年は午後8時30分までにしましょう。
- \* ネット上に、自分や他の人の個人情報（画像や動画を含む）を書き込んではいけません。
- \* ネット上に、人の悪口を書き込んではいけません。
- \* 親の許可を得ないで、有料ゲームを利用してはいけません。